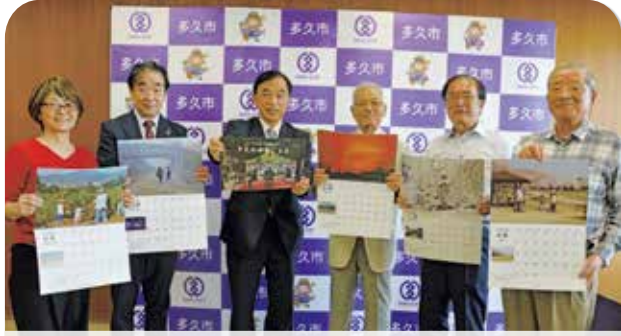


まちの話題

10月10日[Tue]

令和6年カレンダー「多久の四季ごよみ」を寄贈されました



▲カレンダーを手にする「一木会」のみなさんと横尾市長(中央左)、石田俊二教育長(左から2人目)

多久写真クラブ「一木会」が令和3年から制作されている、多久の情景を楽しめる令和6年カレンダー「多久の四季ごよみ」を20部寄贈いただきました。カレンダーには市内の風景写真25枚が掲載されています。

同クラブの南里忠宏会長は「私たちが撮影した写真を通して、ふるさと多久のぬくもりを感じ、心のよりどころになってもらえれば嬉しい」と笑顔で話されました。

横尾俊彦市長は「掲載された写真を見ると多久の情景を感じたり、人々の暮らしを想像したりすることができますと思います。ふるさとの思いや心をつなぐ活動をしていただき、ありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。

今年は1,000部を作成。カレンダーは1部500円で、多久市物産館「朋来庵」と多久市まちづくり交流センター「あいぱれっと」などで購入できます。



10月14日[Sat]

絵本作家『聞かせ屋。けいたろう』さんの「あおぞらおはなし会」開催



▲子どもたちは体を動かしながら楽しくお話を聞きました

多久市立図書館創立100周年を記念し、中央公民館の芝生広場で絵本作家の『聞かせ屋。けいたろう』さんを招いてのイベント「あおぞらおはなし会」を開催しました。

絵本や読み聞かせを大人にも子どもにも楽しんでもらえるよう幅広く活動されている『聞かせ屋。けいたろう』さん。絵本の読み聞かせのほか、ウクレレに合わせて歌ったり、体を動かしたりして、子どもたちも大人もおはなし会を楽しみました。

読み聞かせ後には、多久市立図書館にあるおすすめの絵本をシート上に並べて紹介。『聞かせ屋。けいたろう』さんは「図書館が子どもたちの集いの場になったらいいですね。ぜひ本をたくさん借りてみてください」と話されました。



10月14日[Sat]

秋季釈菜を前に聖廟周辺を一斉清掃



▲多くの参加者のみなさんによって美しく清掃されました

今年で11回目となる「多久聖廟周辺合同美化活動」(主催:一般社団法人多久市観光協会)が穏やかな天候のなかで行われました。

今回は40団体、349人が参加。聖廟および境内の清掃、草刈りやごみ拾い、多久茂文公の銅像や石碑の水洗いなどを実施されました。

多久市観光協会の野中保岡会長は「開始予定よりも早い時間から作業してくださる人もいて、非常にありがたく思います。多くの参加があり、多久聖廟が市民のシンボルになっているのだなと実感しました」ときれいになった多久聖廟周辺を見ながら目を細められました。

